

尚絅学院大学 ONLINE OPEN CAMPUS

総合型選抜の授業体験型審査 を体験しよう 試験の流れ・評価ポイントの解説

人文社会学類
教授 廣瀬 愛



尚絅学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

総合型選抜・前期の授業体験型審査の流れ

①授業を受ける(45分) **メモを取りながら授業を聴こう!**



人文社会学類の教員による学類の学びに関する授業

- × 授業内容に関する質問
- × 辞書・電子辞書・スマートフォンなど指示されていないものの使用

②課題を作成する(45分)



授業で学んだ内容をもとに課題を作成。授業時間内で配布された資料と自分でとったメモは見ることができる。

授業体験型審査の評価ポイント

✓ 授業を聴いて作成した課題によって評価

全学共通の評価ポイント

「授業を理解する力」

→ 授業を受けて、その内容が理解できているか
ということを判断する

人文社会学類の評価のポイント

1. 授業の重要な項目を理解することができる
2. 授業内容を要約することができる
3. 授業の内容をもとに、自分と社会との関わりを理解し、社会が抱える課題について自分の考えを述べることができる。

人文社会学類の評価のポイント

1. 授業の重要な項目を理解することができる

授業の中で**強調して説明された事項**や
キーワードについて理解することができる

人文社会学類の評価のポイント

2. 授業内容を要約することができる

授業を通して学んだ内容について
短い文で説明することができる

人文社会学類の評価のポイント

3. 授業の内容をもとに、自分と社会との関わりを理解し、社会が抱える課題について自分の考えを述べることができる。

授業で学んだ内容について自分の考えを
まとめた字数で述べることができる

試験日までの準備

- 普段の授業を聴く中で、重要なポイントやキーワードを挙げてみる
- 授業の要点を短文でまとめてみる
- 文章作成力の練習
 - 以下の字数で書けるよう練習しておこう
 - 質問に答える問題: 40字～80字程度
 - 自分で考えて意見を述べる問題300字～350字程度

授業体験型審査を体験してみよう！

✓ 机の上に出せるもの

鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削りなどの筆記用具と時計、メガネ、中身のみのティッシュペーパー、授業の配布資料、ワークシート

携帯電話、スマートフォン、時計など音の出る機器は必ず電源を切ってカバンにしまう